

小学生版 テーマ9 ケータイ・スマホの使用とわが家のルール

【ねらい】

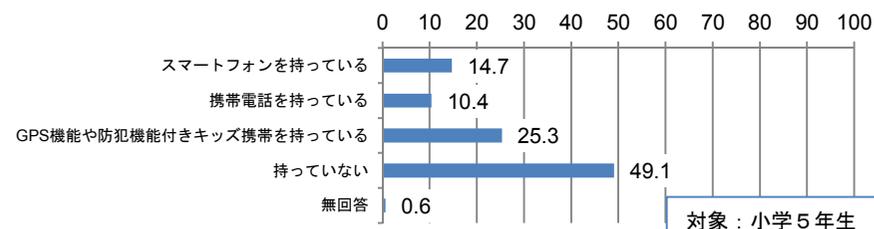
◇スマートフォン等を使用することは便利な反面、常に触っていないと不安になったり、メールができないと情緒不安定に陥ったりするなど、スマートフォンへの依存は日常生活に支障をきたすことがあります。その所持や使用にあたっては、親子でよく話し合い、子ども任せにするのではなく、適正な使用ができるよう家庭内のルールづくりを進めましょう。

【活動の流れと支援のポイント】

1 自己紹介 および アイスブレイク	<p>○4～5人のグループをつくり、自己紹介をする。 (10人までであれば全体で話してもよい)</p> <p>○グループ編成の時には下記のような工夫をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誕生日順、ジャンケンで3回勝った順などで一重円になり人数ごとに区切る。 ・トランプやくじ引きを利用し班を決定する。 <p>○簡単な名札や席札をつくり、名前を覚えやすいようにする。</p> <p>○グループ内で進行役、記録役、発表役を各一人決める。</p>
2 テーマについて深める	<p>○ワークシートのリード文を読み、語り合いのテーマを確認します。</p> <p>○アンケート調査結果の資料や事例を読み、自分の考えや感じたことをワークシートの1、2に記入する。</p>
3 語り合いの約束を確認する	<p>○語り合いに入る前に、約束を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ここだけの話しをする。(個人情報に関することについて) ・相手の考えを頭ごなしに否定しない。 ・自分だけが長く話すぎない。 ・発言を強要しない。
4 語り合い活動 1	<p>○親として気をつけたいことについて語り合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まず、ワークシート1、2に記入したことを伝え合う。 ・それぞれの家庭の考えを交流しやすいよう、だれもが気軽に発言できるような雰囲気づくりに心がける。
5 語り合い活動 2	<p>○事例を読み、ルールづくりは子どもを守るために必要であることを確認し、携帯電話やスマホの使用について、家庭におけるルールを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親が一方向的に押し付けるのではなく、親として提案したいルールを考え、ワークシート3に記入する。 ・考えたルールをグループで発表し、交流する。
6 まとめ	<p>○話し合いの中で参考になったことをワークシートに書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間に余裕があれば、全体で数人に発表してもらおう。 ・シート上のPOINTについて確認し合う。
7 ふりかえり	<p>○話し合った内容をふりかえり、互いにお礼を言って話し合いを閉じる。</p>

【参考資料】

スマートフォン・携帯電話の所持状況



【子どもとメディアに関する意識調査 公益社団法人 日本PTA全国協議会 2016】

<滋賀県スマホ宣言 2016>

- ①もっと一緒に時間を過ごそう!
- ②スマホは永久 子どもは一瞬
- ③親と子が 両方守れるルールをつくらう

<スマホ特別委員会が出された意見より>

○子どもたちからの意見

- ・スマホは無いものに触れることができる。
- ・世界が広がる。
- ・友だちと喋っていることが楽しい。
- ・今だからできることを楽しみたい。

○大人からの意見

- ・SNSに縛られた今の時代の子どものしんどさを親も理解してあげたい。
- ・スマホの利便性を理解しつつもダメなものはダメ。
- ・子どもを守っていくにはものわりの良い親ではダメな時もある。時には、「闘う親」にもなりましょう。
- ・大人もスマホに関する情報をよく知り、子どもたちの平成の常識と大人たちの昭和の常識をお互いに理解し、親子・家族で歩み寄り話し合うことが大切。

○アンケート結果から

おかんのスマホ使用時間が長いほど、その子どももスマホの時間が長くなる傾向にある。
 おかんへの提言・・・スマホを見るより私を見て!
 話し合いの中で、使用について親子でルールを作ることが重要だという意見が多く出された。

【平成28年度滋賀県スマホサミット 主催：滋賀県PTA連絡協議会】